

生活科の実践

札幌市

生活科

2年

身近な素材でとことん遊びを楽しむ！

発見！実験！遊んじゃえ！

～発見名人になろう！～

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

内容（６）（８）（９）に関連した学習です。鏡・虫めがね・ゴム・風船を使って、のびのびと自由に遊びながら、性質に気付き、確かめたいことや、やってみたいと発想したことをどんどん実現させていきました。身近にある物を工夫してつくり、面白さに気付かせたり、みんな遊びを工夫したりすることができます。

学習活動の流れ（２１時間）

野菜やザリガニの観察にも虫めがねを使わせておくとよいでしょう。

虫めがねの活動で、望遠鏡、双眼鏡。鏡の活動では、三面鏡、大きな万華鏡、永遠に映る鏡のトンネル、潜望鏡のような物まで作って試して遊んでいました。

ゴムでは、5cm幅の巨大ゴムにぶら下がっていました。風船では、風船飛ばしやひねり工作で、空気への気付きが生まれました。

虫めがねで遊んで、発見名人になろう！（４）

- ・観察に使ってきた虫めがねであそべるかな
- ・大きく見える
- ・景色がさかさに
- ・やった！できた！わかった

鏡であそんで、発見名人になろう（４）

- ・光るのはどうしてかな？
- ・みんなで光をあつめてみると
- ・やった！できた！わかった

ゴムで遊んで発見名人になろう（４）

- ・よくのびるよ、楽しいな
- ・とばしてみよう
- ・やった！できた！わかった

ゴム風船で遊んで発見名人になろう（４）

- ・大きく膨らんだけど、われちゃった
- ・船が動いたよ
- ・やった！できた！わかった

今までやってきたことを生かして遊んでみよう（４）

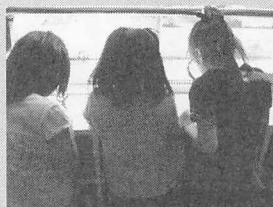
- ・もう一度、違う方法で遊んでみよう
- ・いくつか組み合わせて遊んでみよう

これまでにふりかえろう（１）

- ・いろいろ気付いたね！発見名人になった！！

北海道の中心地、札幌の小学校の実践です。ゴム、風船など身近な素材にたっぷりかかわります。

限られた道具で、子どもの遊びが豊かに膨らむ学習活動です。



大きく見えるよ

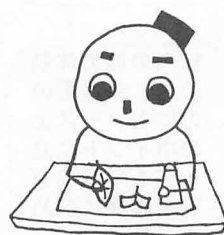
教材・活動の Point!

1. 主体的な活動展開で気づきの質を高める

素材に思い切りかかわって遊ぶ体験をし、そこでの気づきから、試してみたいこと、確かめてみたいこと、やってみみたいことに、どんどん取り組んでいきました。素材の不思議さに気付くことや、そのことから学びを創り出していく楽しさをもとに、気づきの質を高めていくことができます。

2. ゴムでの活動展開と教師の支援

50cm 8mm幅の平ゴム1本での活動では、子どもは、伸ばしたり縮めたりした後、ゴム自身を飛ばすか、消しゴム等をゴムを使って飛ばし始めます。そのあと弓矢、パチンコ、的当て、ヨーヨー等を創る発想がわき、補助材が必要になります。補助材はすぐに与えるのではなく、どのように使うのか考えを聞いた後で、用意させていきました。



3. 気づきをつなげる活動展開

毎時間活動の中での気づきや発見、困り、成果、次にやりたいことをポストイット掲示交流と自己カードで表現させました。1つの素材でじっくり遊び、気づきを表現させることで、新たな気づきを生むのです。そのような活動を繰り返すことで、子ども一人一人が、発見名人になった気分で、どんどん学習にのめり込んでいきます。

